

燕市分水地区地域包括支援センター 1人

私たちは、分水地区の皆さんが住み慣れた場所でいつまでも健やかな暮らしを送られるよう、地域に密着し、介護、福祉、健康、医療、権利擁護など、様々な面から総合的に支え、一緒に考えていく公的な相談所です。主任介護支援専門員、介護支援専門員、社会福祉士、保健師、認知症地域支援推進員（燕市全域の認知症支援）等の専門職が連携を取りながら、暮らしの無料相談所としてご相談をお待ちしております。

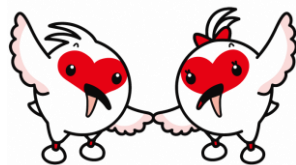
パナソニック エレクトリックワークス株式会社 1人



【パナソニック新潟健康管理室】

10代～60代までの工場勤務者を対象に、各種健康診断、保健指導、急患対応などの業務にあたっております。近年は、持病や特性などを含むメンタルヘルスへの対応が複雑化しています。心身ともに安心・安全が確保され、誰もが働きやすい職場環境の実現を目指して活動しています。

三条地域振興局健康福祉環境部/三条保健所 10人



今年度は3名の保健師の異動があり、育児休業明けの職員もあり、心機一転、意見を出し合い協力しながら業務に取り組んでいます。

【地域保健課】8人

地域保健課では、成人、母子、精神、高齢者、難病と幅広い分野にわたる業務を担当しています。管内市町村をはじめ、関係機関と連携しながら、はたらく世代の生活習慣病予防対策や難病対策、認知症対策などの事業に取り組んでいます。

【医薬予防課】2人

医薬予防課では、感染症、歯科保健、医療・薬事に関する業務を担当しています。

日頃から医療機関、医師会、市町村、消防機関、社会福祉施設との連携を密にするとともに、感染症の発生に備えた取り組みに力を入れていきます。

県央支部保健師会員所属機関			
1	加茂市	6	三条市
2	加茂市地域包括支援センターあさひ	7	燕市吉田地区地域包括支援センター
3	燕市	8	燕市分水地区地域包括支援センター
4	弥彦村	9	パナソニック エレクトリックワークス株式会社
5	田上町	10	三条地域振興局健康福祉環境部

『年間活動計画』

8月
保健師職能だより
発行

2月頃（予定）
保健師職能研修会



令和8年度

保健師職能だより



職能委員長あいさつ

酷暑の候、皆様におかれましてはますますご活躍のことと存じます。さて、県央支部保健師職能委員会では、保健師同士のつながりを深め、よりよい保健師活動につなげていきたいという思いから毎年職能だよりを発行しております。それぞれの職場での仕事内容や力を入れている取り組みについて知り、連携の手がかりにいただけたら幸いです。また、職能だよりは支部会員のほか、活動のPRのため会員外の保健師にもお届けいたしました。

今後とも活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



職場紹介



加茂市 12人



【健康福祉課】

新規採用や人事異動に伴い、新たに2名の保健師が加わり、健康づくり業務に取り組んでいます。健康増進プロジェクト事業では、1450人を超える参加者があり、街中を歩き、ポイントを活用されている方が年々増加しています。糖尿病対策やフレイル予防を重点的に実施し、女性のための健康づくりも推進していきます。

【こども未来課】

産前から育児期まで切れ目のない伴走した支援を強化しています。保健師による全戸訪問や、今年度開始の7～8か月児対象のすくすく育児学級により、常に状況を把握できるフォロー体制を構築しています。発達や離乳食の変化が著しい時期の支援も充実させ、今後も関係機関と連携し、育児不安を抱える保護者に寄り添った支援を行います。

【長寿あんしん課】

「住み慣れた地域で、支えあい安心して暮らせるまち」を目指し、フレイル予防と認知症対策の充実、地域サロンや老人クラブへ出向き、地域とのつながりを意識して介護予防をすすめています。

加茂市地域包括支援センターあさひ 1人

加茂市2か所目の地域包括支援センターとして開所しましたが、地域のサロンやカフェへの参加を通して認知度が上がり、介護に関わらず様々な相談が増えています。当市では高齢化率が40%を超え、生活不活発病由来の介護認定者が増えていることもあり、今年度は生活場面を想定した体操教室の開催を予定しており、住民のフレイル予防意識を高められるよう取り組んでいきたいと思ひます。

令和8年8月発行 保健師職能だより

公益社団法人 新潟県看護協会県央支部 保健師職能委員会

《役員》三条市役所、加茂市役所、田上町役場、三条地域振興局健康福祉環境部 保健師4名

燕市 29人

【健康福祉部】

現在新採用保健師はいませんが、人材育成担当参事が退職となり、保健センター長を中心に人材育成を行います。PDCA サイクルを回した活動を強化するため、健康課題の分析に力を入れています。それぞれの課・チームで事業の目的は異なっても、見つめている未来は一緒。新市長から官民一体の事業運営を求められており、部として「市民協働の健康づくり」を一層推進する必要があり、今まで以上に市民の言葉を収集し、スタッフとの連携を密にし、保健師の活動と魅力を市役所内外に積極的にPRしたいです！

【健康福祉部 健康づくり課】

健康づくりにも DX 化が進み、オンライン診療実証事業を新潟大学との協働により開始しています。また、食育情報発信 Instagram アカウト「もぐもぐつばめ」を開設し、簡単副菜レシピや食育情報・イベントの投稿をしています☆保健センター職員にもタブレットが配布され打合せも画面を見ながらとスマートな働き方に進化！保健センターは改修工事中のため、保健事業は公共施設で実施など移動が多くなりましたが、持ち前のチームワークと何事も楽しむ気持ちで日々邁進しています！

【健康福祉部 長寿福祉課】

今年度も2名の保健師が在席し、チーム内の社会福祉士や精神保健福祉士とともに、それぞれの専門性を活かしながら、包括支援センター等からの相談対応をはじめ、地域ケア推進会議などの各種会議の運営、介護予防事業等に取り組んでいます。また、今年度は「第10期介護保険事業計画」の策定の年となります。委託先のみなさんと連携して、現状と課題を整理しながら、高齢者のみなさんが住み慣れた地域で、輝いて暮らせる燕市をめざし、計画づくりを進めていきます。

【こども政策部 子育て応援課】

今年度は見守り支援チームに児童家庭相談システムが導入され、最近ようやくメリットを実感できるまでに使いこなせるようになりました。母子保健チームは保健センターの改修工事に伴う母子保健事業の会場変更により移動の負担が増しましたが日々エネルギーに对应しています。こどもサポート相談チームは巡回型の5歳児健診導入2年目となり順調に継続実施しています。こども家庭センター3年目を迎え3チーム連携しながら地域の子育てを力強くサポートできるよう、きめ細やかな支援に努めています。



弥彦村 6人

【健康推進課】【こども未来室】【住民福祉課】

今年も変わらないメンバーで、健康推進課4名、こども未来室1名、住民福祉課1名の体制です。年々業務が増えるなか、分散配置となりましたが、住民が健やかに幸せを感じながら生活できるよう、保健師同士が繋がり、目指す方向を一致させ、日々活動しています。



田上町 8人

【保健福祉課：保健係4名、福祉係2名、包括支援係1名】【教育委員会1名】

合計8名の保健師で、日々の多忙な業務に奮闘しています。

目の前の対応に追われがちですが、「目指す姿は？課題は？」という本来の目的を常に意識して、仕事に取り組んでいます。住民の皆さまの健康はもちろんのこと、支える私たち自身の心身の健康も同じくらい大切にしていきたいと思います。



三条市 25人

【福祉保健部 健康づくり課 保健指導係・健診係】

今年度は、新採用1名を迎え、若手もベテランも共に育ちあえるような職場環境を目指し、日々業務に取り組んでいます。壮年期からの健康づくりを推進するため、事業所を対象とした生活習慣病予防やメンタルヘルスに関する啓発に取り組むとともに、自殺予防や熱中症予防対策、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施などの健康づくりを進めています。また、スマートウォッチを活用した特定保健指導や、リブシを活用した健康教室を引き続き実施し、ICTを活用した一人ひとりの生活スタイルに合わせた効果的な保健指導を推進していきます。

【福祉保健部 地域包括ケア推進課 地域包括ケア総合推進センター】

地域共生社会の実現を目指し、高齢分野に限らない地域包括ケアを推進するため、庁内の多分野や、医師会、地域包括支援センター等と協働し、医療、介護、障がい福祉、生活困窮、ひきこもり等の関係機関が連携した支援体制構築や、世代や分野を越えた丸ごとの地域づくりを行っています。保健師3人を含む5人のセンター職員が向かい合う配置なので、自席にいながら些細なことでも常に相談し合い、意見を出し合い、熱い議論を交わしながら仕事をしています！

【福祉保健部 高齢介護課 高齢福祉係】

高齢者福祉に関する業務のほか、介護予防や自立支援、重度化防止の推進、認知症施策などの取り組みを行っています。特に今年度は、第10期介護保険事業計画や認知症施策推進計画の策定年度であり、検討すべき課題も数多くありますが、保健師、社会福祉士、事務職がチーム一丸となり、互いに支え合いながら毎日を乗り切っています！

【教育委員会 子ども家庭サポートセンター 総合支援係・児童発達支援センター】

母子保健と児童福祉の一体的な実施、妊娠から就労に至るまで切れ目なく支援をつなぐ「子ども・若者総合サポートシステム」の推進に取り組んでいます。地区担当保健師は、妊婦から医療的ケア児を含む子ども・若者の多様化・複雑化するケースの課題に、関係機関と連携を図りながら日々奮闘しています。今年度から、「年中児発達参観」をベースに5歳児健診を導入したほか、地域の障がい児支援の中核となる児童発達支援センターを開設し、発達特性のある子どもの早期発見・早期支援の更なる充実を目指しています。

【総務部 人事課 人事係】

職員一人ひとりが心身ともに健康で、安心していきいきと働ける職場環境づくりを目指し、ストレスチェックの実施・結果の活用をはじめ、長時間労働者への対応、メンタルヘルス相談、安全衛生委員会の運営、ハラスメント対策や女性活躍推進事業などを行っています。

保健師1人ですが、課の皆さんや庁内の保健師と協力・連携しながら、職員の健康づくりや働きやすい職場づくりを推進しています。



燕市吉田地区地域包括支援センター 1人

一人ひとりの相談から見た地域の課題を、街全体の仕組みづくりへつなげています。データ活用や多職種との連携を通じ、誰もが暮らしやすい環境づくりを推進しています。

医療福祉の視点と地域の課題解決力を掛け合わせ、燕市とともに誰もが安心して暮らせる地域デザインに取り組んでいます。